

# 監視通信領域の研究

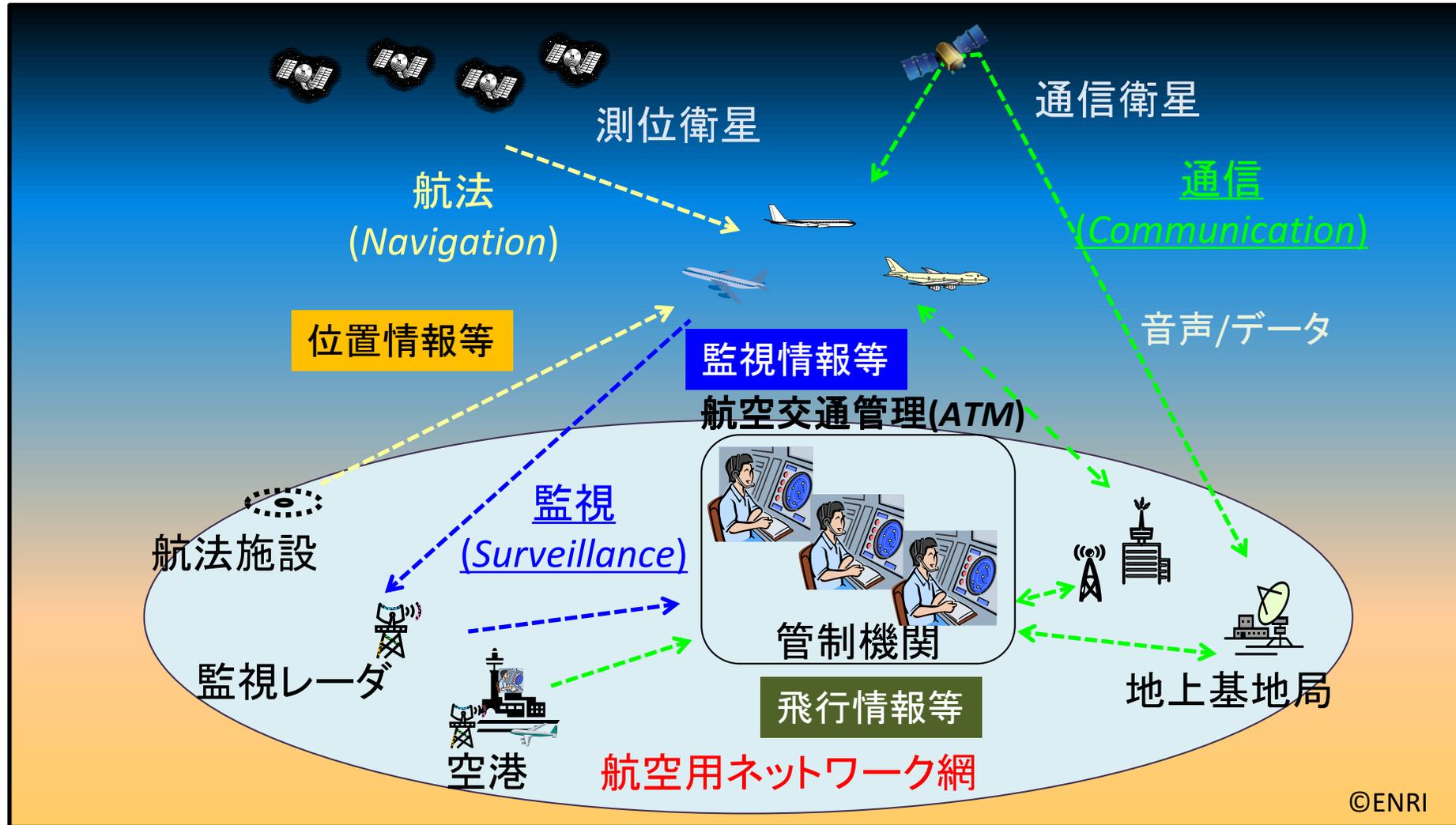
監視通信領域長 宮崎裕己

令和7年度（第25回）電子航法研究所研究発表会



2025年6月13日（金）

# 通信・航法・監視 (CNS) と航空交通管理 (ATM)

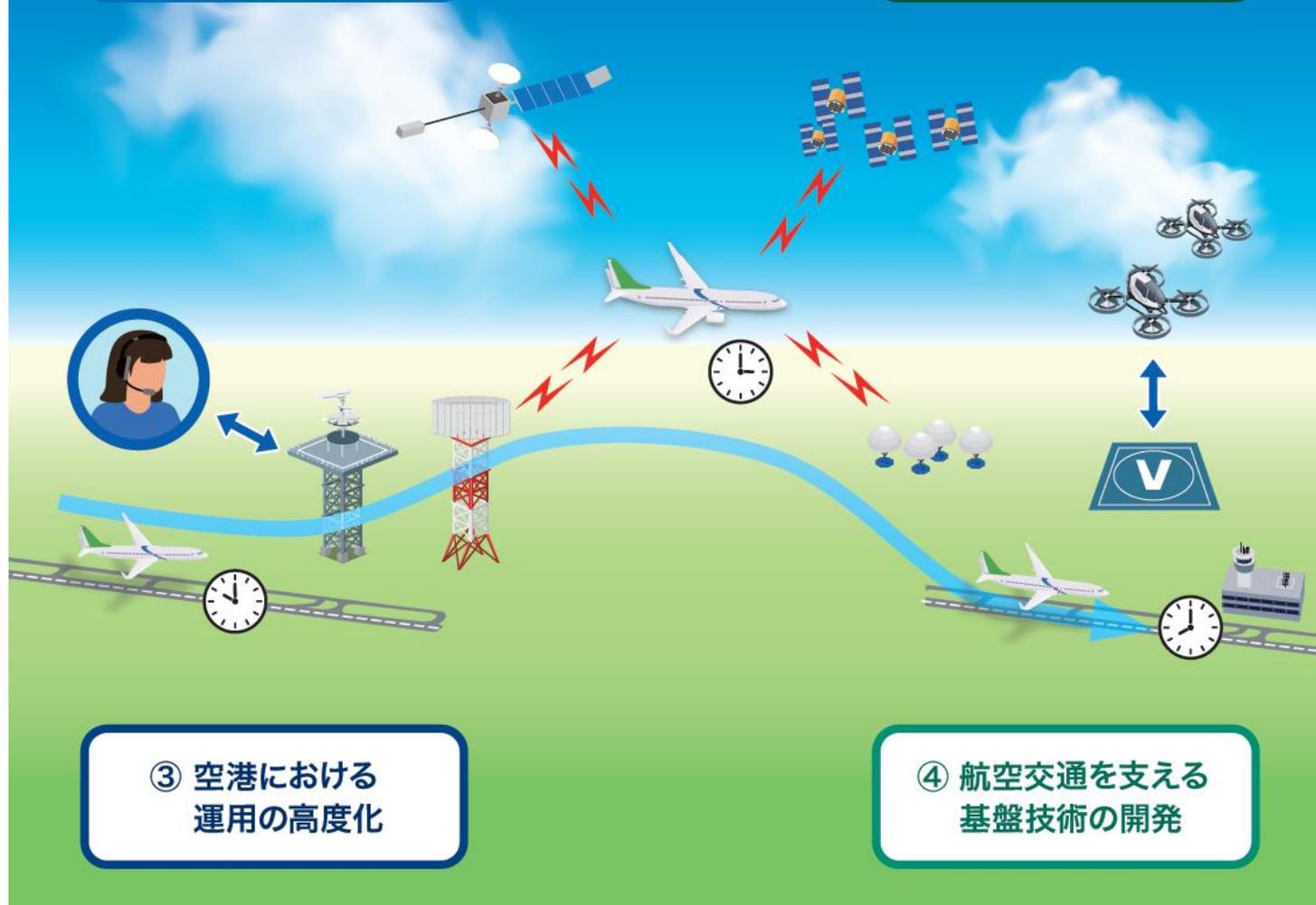


# 重点研究分野



① 航空交通の安全性  
及び信頼性の向上

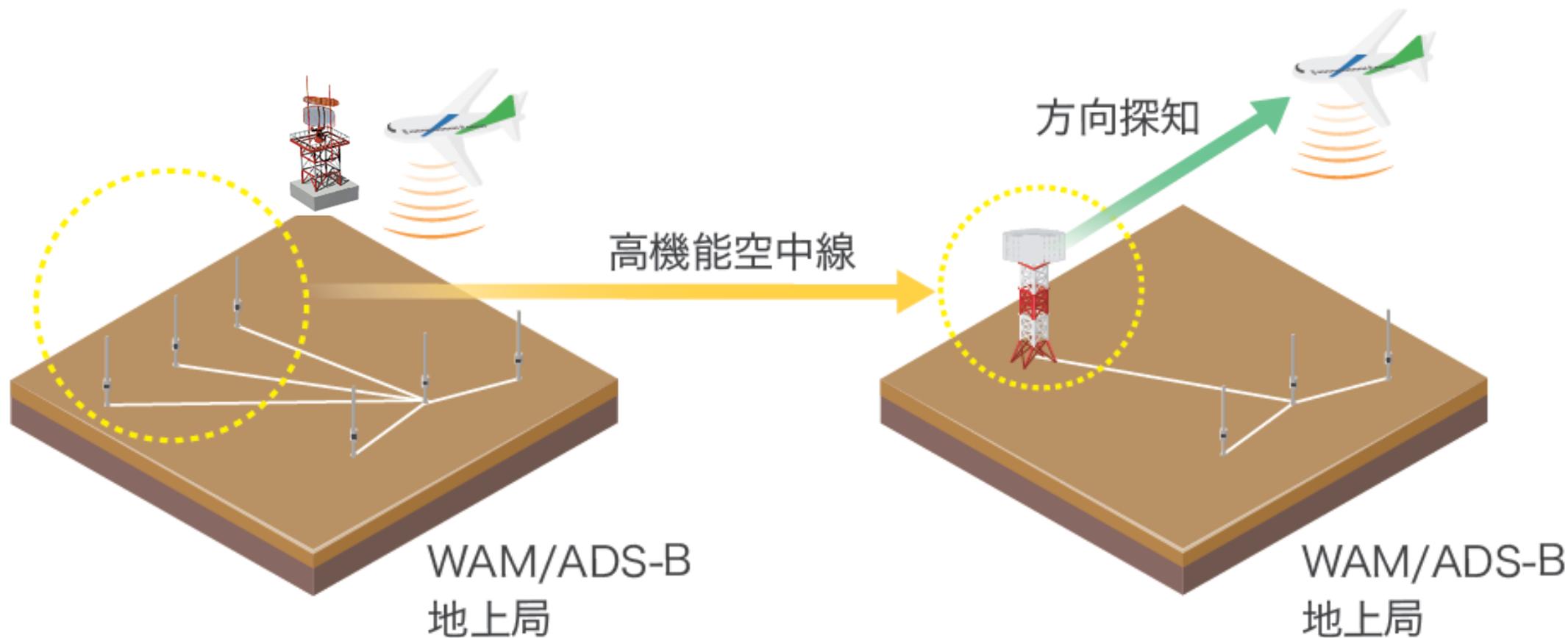
② 航空管制の高度化  
と環境負荷の低減



# ① 航空交通の安全性及び信頼性向上の研究



## WAM・ADS-B用高機能空中線による航空路監視の効率的整備に関する研究



## ②航空管制の高度化と環境負荷の低減



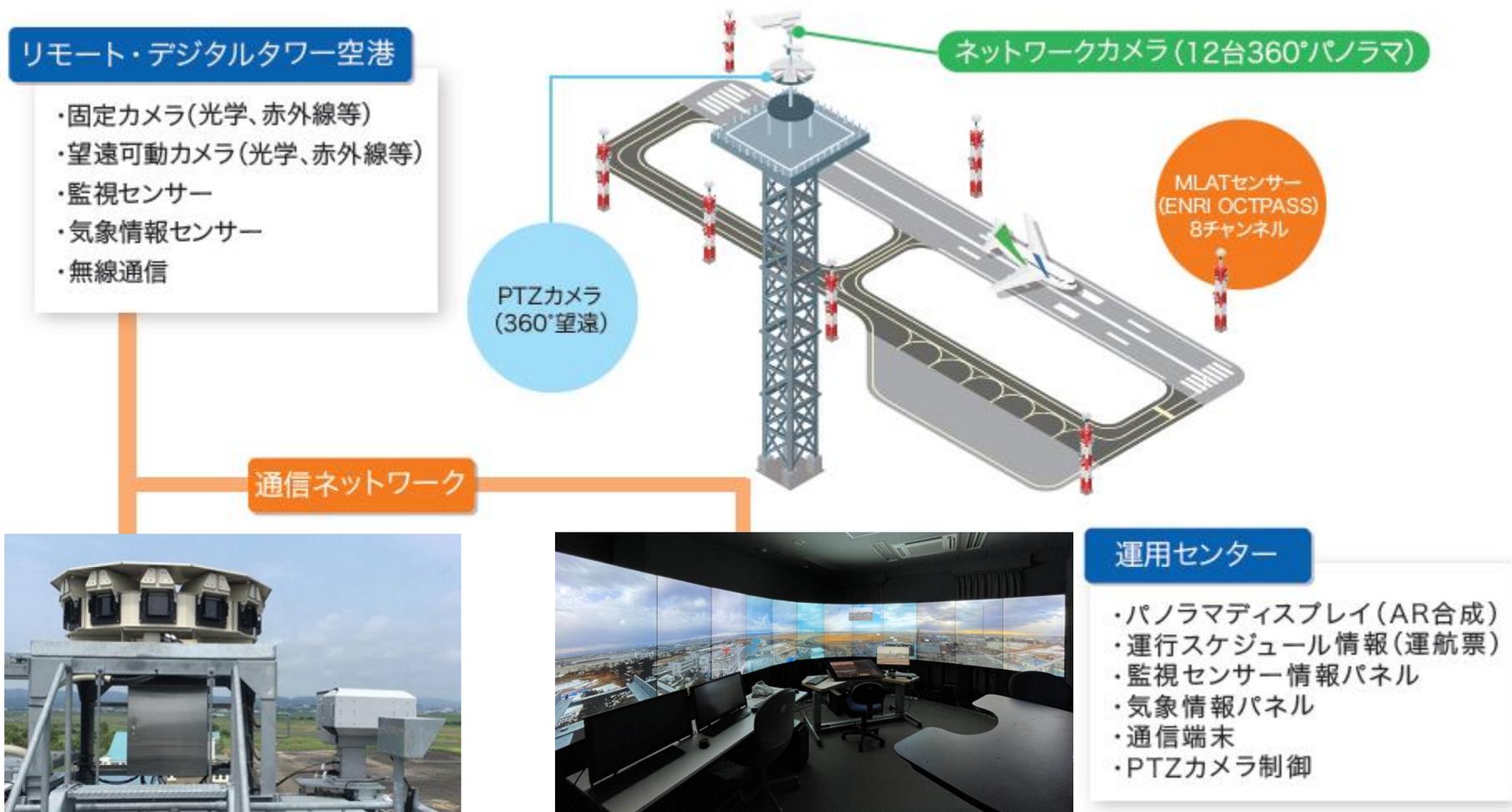
次世代航空モビリティの運用環境構築に関する研究（航空交通管理領域）



# ③ 空港における運用の高度化



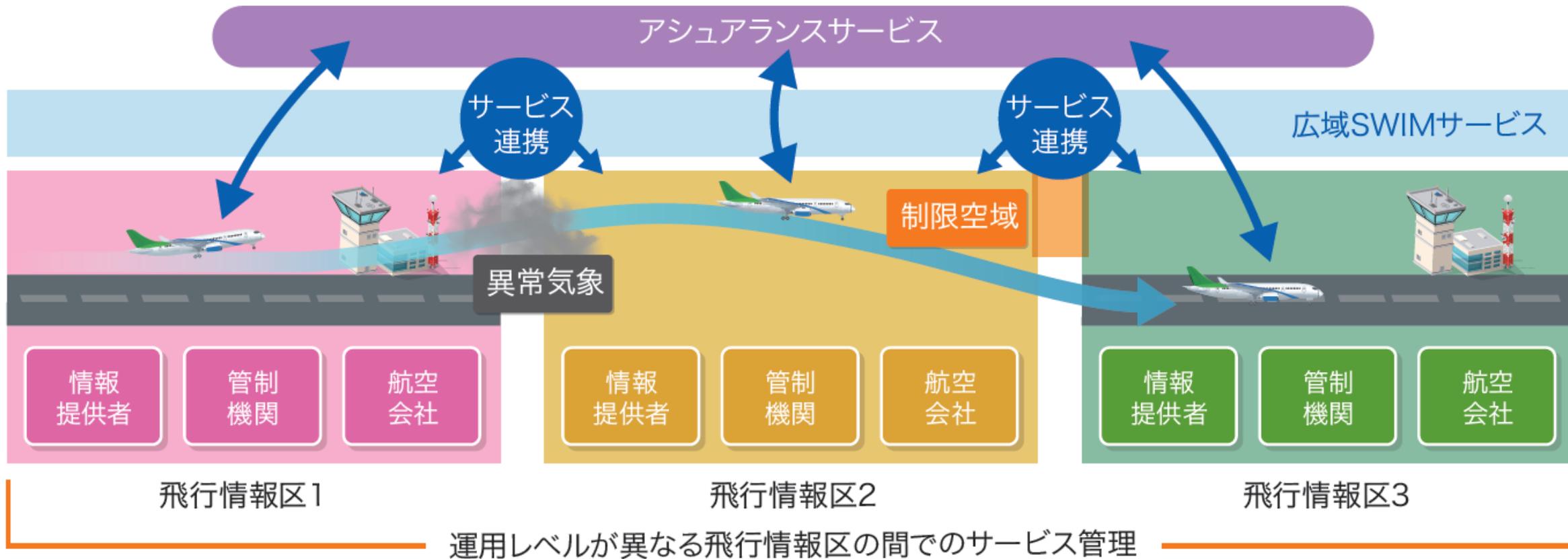
## リモートデジタルタワー向け先進的業務支援機能の研究



# ④航空交通を支える基盤技術の開発



## SWIM による協調的意思決定支援情報サービスの構築と評価に関する研究



\*SWIM: System-Wide Information Management

\*\*FF-ICE: Flight & Flow Information for a Collaborative Environment

# 本日の発表 (③空港における運用の高度化から)



ミリ波レーダおよびカメラを用いた滑走路安全性向上技術に関する研究

## ◎羽田空港での滑走路異物監視システムの評価進捗

※ニッ森俊一、森岡和行、河村暁子、米本成人（監視通信領域）

⇒令和4年度に東京国際空港に設置した滑走路監視システム評価装置による評価の進捗を述べる。また、これまでに実施した国際技術基準適合性評価結果等を紹介する。

空港用マルチ監視技術活用に関する研究

## ◎空港面における協調監視システムの監視性能と測位結果の統合

※本田純一、松永圭左、角張泰之（監視通信領域）、大津山卓哉（航空交通管理領域）

⇒空港面への適用が期待されるADS-Bを含めた協調監視システムについて、飛行実験等を通して得られた評価結果や測位結果の統合方式の考え方を説明する。